

ひかり

第26号 別冊

「ボランティア活動の紹介」

— 令和4年1月10日発行 —

社会福祉法人 秋田県社会福祉事業団
秋田県点字図書館

〒011-0943 秋田市土崎港南三丁目2番58号

電話 018(845)0031・貸出018(853)4035

FAX 018(845)7772

E-mail tenji@fukinoto.or.jp

H P <http://www.fukinoto.or.jp/tenji>



点字と音声

ボランティア（注1）の役割と図書館の関係
視覚障害者や発達障害者のように、活字による資料がそのまま使えない人たちがたくさんいます。その方々には、資料をその人が利用できる形に変換して提供します。
資料製作の大半を行っているのは、ほとんどが点訳・音訳者等のボランティアの方々です。
資料製作は、資料提供（貸し出し）のための手段であることから、高度な専門知識と専門技術（資料変換技術）を持ち合わせて、質の高い資料を製作してもらい、利用者・社会に提供する図書館の役割を担っていただいています。
注1 秋田県点字図書館登録奉仕員のことです。お互いに通称でボランティアと呼んでいます。本稿で使用するボランティアが該当します。一般的な個人責任で行うボランティアと異なり、活動の責任はすべて当館にあります。

点訳

- ①点訳ボランティア
視覚障害者が求める墨字（活字）情報を、忠実に点字に置き換えます。
- ②点訳校正ボランティア
点訳されたものが原本に忠実に、かつ適切に処理されているかを読みくらべ確認します。

音訳

- ①音訳ボランティア
図書や資料などを、原本どおりに声に出して読み、一定の基準に基づいて音声化します。
- ②音訳校正ボランティア
音訳ボランティアが音声化した録音データを原本と照合し、原本どおりに読まれているかを確認します。
- ③音声デジター編集ボランティア
音訳、音訳校正を経た録音データを、編集ソフトで原本通りのページに移動したり、章や節ごとに移動出来るように編集し、音声デジター図書として仕上げます。

テキストデジター

- ①テキスト化ボランティア
墨字の書籍、書類などをスキャナーで読み取り、パソコンに取り込んで文字データにします。その際、読み取ったデータは変換ミスがあるので、原本通り修正し入力します。
- ②テキストデジター編集ボランティア
テキスト化が終了した文字データを編集ソフトに取り込んで、原本通りに、見出しでセクション分割したりページ付けしたりして検索機能を付け編集します。

製本・テレホンニュースサービス・墨字印刷

- 製本ボランティア
点訳・音訳ボランティアが製作した図書を利用者にお届けできるように製本します。点字版のファイル製本、カセット・デジター版のコピー、テプラテープ・点字テープの貼り付け、点訳製作図書の墨字印刷、利用者が希望する新聞の記事を電話で読むなどを担当します。

別冊発行にあたり

館長 小澤 久 範

以前から当法人の中では、点字図書館はボランティアの皆さんの力で支えられていると言われていました。

実際に点字図書館でのボランティアの皆さんの活動実績に触れる機会を得て、点訳で6万ページを優に超えられている方、音訳で1500時間を超えられている方、校正で1000時間を超えられておられる方がおられるということ知り、数字で表す以上に大変な努力をされて来られていることを知ることが出来ました。

そのボランティアの皆さんの努力の結晶が、点字図書館蔵書数が令和3年3月31日現在で、約2万3千タイトル、9万2千冊（巻・枚）以上となって表れています。

昨今は令和2年1月以降、新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、感染予防対策で、外に出る機会が減ってしまっていることは皆さん同じだと思いますが、視覚に障がいのある方々にとって、リクエストにより点字図書館から送られて来る図書を読んだり、聞いたりすることが大きな楽しみとなっているとの利用されている方々からの感想に触れるたびに生活に潤いをもっていたいただいているというを思います。

点字図書館でのボランティア活動は、決して楽しいことばかりではないと思いますが、これからも、ボランティアの皆さんのお力をお借りして、点字図書館が視覚に障がいのある方々の「ひかり」であり続けるようありたいと思います。

そして、読書バリアフリー法の制定と共に、視覚に障がいのある方や見えづらさ、読みづらさを抱える方々が、もっと気軽に読書を楽しむことが出来る社会の実現に、点字図書館として寄与出来るように努めて行きたいと思います。

ボランティアグループの紹介

【点訳ボランティア】

グループ名

点灯虫

ほたる火の会

六点会

たんぼぼの会

いちごの会

つくしの会

わかち会

すばる

ひよこ

個人 1名

グループ名

わかば

クローバー

月うさぎ

さくら草

サークル2000

フリージア

グループ名

みちの会

グループ名

ひまわり2000

グループ名

グループ名

ドット・テキスト

グループ名

麻の会

個人 8名

点記 点 灯 虫

いつまでも灯し続けたい

代表 由利 尚子

令和3年度の点灯虫は、三世代(？)9名のグループです。「点灯虫」の始まりについては、残念ながら、発足時の方々から伺える機会がありませんでした。が、このネーミングのセンスに感心し、又とても気に入っています。

私達は、毎月第二水曜日に、たんぼさんと合同で勉強会を継続しています。遠くは大館、能代から集まり、疑問を出し合い、検討しています。パッパッパッと正解にたどりつけないのが、目下の大きな問題ではありますが、楽しく、仲良く、終了後はもっと仲良く頑張っています。

点記をライフワークに出来たらと思っています。



名 称 点灯虫

会 員 数 9名

製作開始 昭和57年7月

名称の由来 伺ったことがないので、不明です。

点記 ほたる火の会

ほたる火

代表 三浦 久子

ほたる火の会は昭和五十七年にできた県南のグループです。点字の勉強はもちろんですが、大曲仙北視障協の婦人部の方々と料理教室を開きにぎやかに和気あいあいとすごしたこともありました。点字器からタイプライター、パソコンになり、その度に困惑し、悪戦苦闘です。それに先輩方が諸事情で退会され、心細く不安にもなりましたが、新しい仲間が加わり頼もしいです。蛍の光は個々ではかすかで弱いけれど集まり合うと少しは明るい光を灯します。こんな会の名前の由来のようにこれからも続けて行ければなによりうれしいことです。



名 称 ほたる火の会

会 員 数 7名

製作開始 昭和57年6月

名称の由来 蛍の光は個々ではかすかで弱いけれど集まり合わせると少しは明るい光になるでしょう。

点記 六 点 会

感謝

代表 佐々木 こずえ

点記ボランティアを始めて約10年。図書館・点字協・グループの皆様方のいいねいな御指導があって、やっと、細々とですが続けて来れました。

子どもの頃から思っていたことがようやくできるようになって、とても嬉しかったです。日本語に対する自分の知識のなさに愕然とし、パートもあり、困難の連続でした。

でも、楽しい方が勝っているのので80歳まで続けたい。関係者の皆様にはまだまだお世話になります。感謝あるのみです。



名 称 六点会

会 員 数 7名

製作開始 昭和60年7月

名称の由来 六つの点の組み合わせでできる点字に因んで「六点会」としました。

点記 たんぼぼの会

三十年を振り返って

代表 加藤 典子

たんぼぼの会は、平成三年に活動を開始し今年で何と、三十年を迎えました。

月日の経つのは早いとの感慨と共に、よく続けてきたとの思いもあります。これもひとえに、全国の講師の方々、秋田県点字図書館の皆様、点字協の皆様のご包容力のおかげと、感謝しております。

グループの平均年齢は、すでに上限に達しており、人数も少なくなりました。

近頃は、プライベートの要望もなくなり、グループ自体の存続を考える時期となりました。とはいえ、多才で楽しい仲間にも恵まれ大変幸運でした。これからも、できる事を少しずつ続けながら、過していききたいと思っています。



残念ですが集まって写真を撮ることが叶いませんでした。

点訳 わかち会

わかち合うために

代表 進藤 美由貴

わかち会は平成十年、十五名でスタートしました。当時はパソコンが家庭に普及し始めた頃で、養成講座の宿題や最初に点訳した本は手打ちでした。その後二十三年が過ぎる中三度新しい仲間を迎えました。月一度の勉強会は参加率が高く、なごやかな雰囲気です。毎年秋には、数人が小中学校向け障がい理解教室(点字教室)へ出向きます。小中学生の真っ直ぐなまなざしに、こちらが元気をもらっています。

これからこの活動を通して、視覚障がい者の方々と、読書の喜びを「わかち」合ってゆきたいと思っています。



名 称 わかち会
会 員 数 14名
製作開始 平成10年10月
名称の由来 養成講座の時、わかち書きで苦勞したので、わかち会と名付けました。

点訳 すばる

代表 保坂 ユキ子

ミレニアムの年に活動を始めた第一世代、二年次研修を受けながら活動を開始し、いつの間にか十年を越えた第二世代、令和になり新たに養成講座を終了したフレッシュな第三世代、と三つの世代が揃って毎月一回、各自の疑問点を持ち寄り、点字図書館で勉強会を行っています。「それは…」と明快な説明に納得し、問題解決の場合もあれば、様々に変化する日本語の難解さ、曖昧さに頭を抱える事もあります。それでも皆で疑問点を共有し、考える事でボケ防止に役立っているのではないかと思っています。時には点訳の話題から世間話へと変わってしまう事もありますが、和気藹藹とやっています。



名 称 すばる
会 員 数 13名
製作開始 平成12年10月
名称の由来 会員が一つになるようにとの願いを込めて、続(す)べる星、「すばる」としました。

点訳 いちごの会

機関紙ひかり26号(別冊)への寄稿

代表 本間 澄夫

コロナ禍の現下、当会の毎月の勉強会も休むことなく、これをここに報告できることは、まずは何よりも嬉しい限りです。

書籍は多種多様で、本を手にする度に新たな疑問点等に突き当たります。これらを勉強会で話すと、適切なアドバイスが得られて、大いに助けられています。

この皆さんの知的経験のパワーは、知的財産です。それに他会の皆さんとの全体会議、研修会等の重層も心強い限りです。

回答が多様な時もありますが、方向は見えています。先人、諸先輩、皆さんの知的財産で、きっと明確になるでしょう。

かく言う私は点訳3冊目のヒヨッコ。「何をかいわんや」です。失礼しました。



名 称 いちごの会
会 員 数 20名
製作開始 平成8年4月
名称の由来 当時、講座修了生が15人いたので、い・ち・ご。果物の名前が付いた会が多かった。

点訳 つくしの会

代表 吉田 良子

つくしの会として活動を始めてから、二十年以上が経ちました。私は県外での活動が長く、ドキドキしながら十年ぶりに勉強会に顔を出した時、温かく迎えてくれたメンバーの皆さん。仲間なんだなあとホッとしたのを覚えています。

点訳は本当に奥が深いです。日頃は一人で悩みながらの作業ですが、月一回の勉強会で疑問を出し合い、解決しないことも多いのですが、皆の顔を見るだけでも元氣が出ます。

コロナ禍の日々、穏やかに過ごせているのは、ボランティア活動があるからなんだと改めて感じています。寄る年波の私ですが、これから仲間と共に、励まし合い、活動を続けて行きたいと思っています。



名 称 つくしの会
会 員 数 13名(うち休会1名)
製作開始 平成12年4月
名称の由来 やどめ・すずなの会が合併し、「これから育つ」「尽くし」の意味を込めて。

「わかば」は現在10名(休会1名)、奇数月に研修会を催しています。これまで1冊の本を教材に、図表や写真の処理の仕方を発表したり、二ページほどの文章を録音して聞きあったりしてきました。聞いてもらう事は照れや畏れがありますが、アドバイスをもらい褒めてもらえれば励みになりますし、聞かせてもらう事は楽しいです。

シリーズ物の児童書を共通テーマにすることで間とピッチ、本文と説明文の読みわけなどの学習が出来たり、また旧字体の本を読んでいる方の変えなど他の人の苦勞話を聞くことは、いつか自分がそんな本に出合った時のコミュニケーションになっていきます。



名称 わかば

会員数 9名

製作開始 昭和59年4月

名称の由来 音訳を始めたころの気持ちを忘れず、心に若葉マークを灯して活動していきましょう。

この秋田県点字図書館で音訳活動を行くためになくてはならない存在のひとつがグループ・クローバーの絆です。

考えてみれば、時として音訳奉仕は孤独な作業の連続です。そのような時、年六回ほどのグループ勉強会ではありますが、先輩たちから製作に関する情報や助言を得たり、抱えている疑問を解決するための糸口を見出す機会であることもさる事ながら、それ以上に屈託のない語らいの場であり、心のオアシスになっているのもこの会の存在なのです。

これからも、頼りになる音訳仲間たちから情熱的刺戟を受け、前向きな活動をつづけられたら幸いです。(クローバーの花ことば)です。



名称 クローバー

会員数 9名

製作開始 平成21年4月

名称の由来 しろつめくさの小さな葉に期待をこめて。
“野草のたくましさ。四葉のつながり”

音訳クローバー

頼りになる音訳仲間

代表 佐志 久美子

点訳ひよこ

先輩達を目標に

代表 嵯峨 タエ子

私が点訳を始めた時は、点字器でポツポツ穴をあけて、勉強しました。力の加減が難しくて、悪戦苦闘の毎日。それから点訳ソフトを使用するのパソコン点訳になりました。でも、点字器の時の穴をあける、ポツポツと響く音がとても心地よくて好きでした。小さな事を大事にするほど感動できました。

私達同期が、「ひよこグループ」の仲間に入れていただきました。今だによちよち歩き気分が抜けきれずにいます。新しい扉を開いた時、新しい出会いが始まるように、遅くとも頼もしい親鳥達に守られて、支えられて私達はここにいます。

コロナの影響で、月一回の自主勉強会の機会も減るようになりました。それでも縁という、目には見えない絆を大切に、先輩達を目標に、点訳ボランティアを続けていけたらなあと思います。まだ、ゆっくりとですが…。



名称 ひよこ

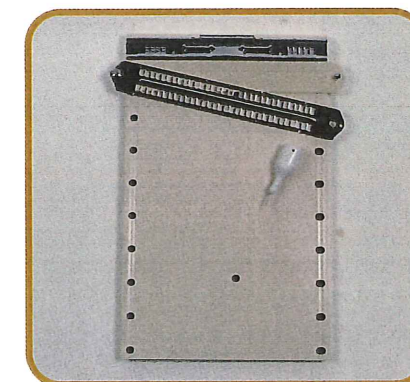
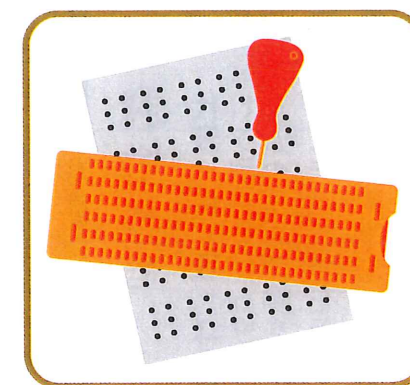
会員数 13名

製作開始 平成13年4月

名称の由来 よくわかりませんが、先輩に書いていただいた「初心を忘れずに」と「未熟だから」では。

点字五十音表

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や	ゆ	よ		
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ	を	ん		



点訳個人



浅利

明

新しい園

音訊 サークル2000

代表 佐々木 美登里

四名の新しい仲間を迎え、十一名で今年度の活動をスタートさせました。グループ結成時からのベテラン二名、ようやく五年目の五名、そこに新しい風が吹き込み、充実のラインナップです。新しい方たちの音訊に向かう真摯な姿勢が、爽やかな風となって、初心を思い起こされてくれます。悩み事の相談には、「そうそう」と強く共感し、何年経っても成長していない自分に力が抜けたりもします。

音訊は個別作業が中心ですが、目の不自由な方に情報を伝えるという共通の目的をもつ、仲間や先輩方、館の方々に支えられ、孤独ではないと感じることが出来ます。共に学び、励まし合えることに感謝しつつ、一つ一つの経験を糧に、情報をきちんと伝えられる音声表現を目指して、今日もマイクに向かいます。



名称 サークル2000

会員数 11名

製作開始 平成13年4月

名称の由来 結成時、2000年度に養成講座を受けたメンバーのみでスタートしたグループでした。

「フリージア」も今年で19年目を迎える事となりました。私に加えられた11年前は20名程いた会員も、今では半数の10名となり寂しい限りです。

フリージアの勉強会は、毎回決まった課題は無く、各自持ち寄った問題をその都度皆で解決していくといった型を取っており、まさしくフリーの勉強会です。その中で私は、様々な事を学び成長させてもらい感謝です。

何かとAに代わられる昨今ですが、生身の暖かい声が良いと言つて下さる利用者さんが居る限り、私達の存在意義は大きいのではないのでしょうか。

自身の衰えと戦う毎日ですが、あの、一冊を読み終えた後の達成感を味わうがために、これから頑張りたいと思います。



名称 フリージア

会員数 10名

製作開始 平成15年4月

名称の由来 植物名(科名): フリージア
花言葉: 無邪気・潔白
※フリー(自由)じゃ、をもちりました。

音訊 フリージア

代表 天野 敦子

楽しく活動したい

音訊 月うさぎ

代表 田中 章子

月うさぎのメンバーは現在13名。昨年からのコロナ禍の中、秋田市外の方が5人いて、なかなかメンバー全員が集まることは難しいのですが、状況を見ながら勉強会を開催し、技術や知識を深めようと頑張っています。

録音をしていてわからないことや疑問に思ったことを勉強会で持ち寄り、その場で先輩たちから教えてもらう方法をとっています。

私たちの仕事は蔵書を作るための一番最初の部分ですが、読んでくれる人の顔を思い浮かべ、基本を忘れず、わかりやすい、聞き取りやすい音訊をめざして、メンバー一同、和気あいあいと活動が続けたいと思っています。



名称 月うさぎ

会員数 13名

製作開始 平成11年4月

名称の由来 活動開始の年の干支のうさぎと、当初のメンバー数の15をうさぎが遊ぶ十五夜お月様に掛けて、月うさぎとなりました。

音訊 さくら草

アメニモマケズ

代表 安藤 巳智子

さくら草は、平成11年にスタートし、現在11人で活動しています。メンバーの多くが新聞や雑誌、広報紙などに関わっており、奇数月に一度のグループ研修では、それぞれの課題や疑問を提起し合い、学び合っています。

音訊は一人で取り組む根気のいる作業ですが、だからこそ仲間と顔を合わせ、さまざまな情報を交換し、エネルギーを充電し合う機会は大切なものです。少しでもよく聴き手に「届く」音訊を目指して、アメニモマケズ、「口音・アクセント・間の取り方」等ノ困難ニモマケズ、これからも自分自身と格闘しながら、仲間とともに進んでいけたらと思っています。



名称 さくら草

会員数 11名

製作開始 平成12年4月

名称の由来 たくさんの小花をつけて明るく咲くさくら草に支え合い学び続ける仲間の思いを重ねた。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

「テキスト化」のお仕事

テキスト化 ドット・テキスト
テキストデジ編集



名称 ドット・テキスト

会員数 13名

製作開始 平成27年4月

名称の由来 「テキスト化する」という作業内容が解るような名前にしたいと思った。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

仲間と共に

点が、今は制作基準なども随分整備されて来ております。

製本 麻の会



名称 麻の会

会員数 7名

製作開始 平成3年11月

名称の由来 点訳資料を糸とじ製本するのに欠かせない麻の糸。細くて丈夫なこの糸から命名した。

歩みをつないで

代表 金森洋子

病気やけがなどで視覚障害になる人の割合が大きく占めている今、聞いてわかる情報が、とても必要とされています。

蔵書などの製作において「書いてある通り、著者の意図する内容が伝わるような音声化」という課題があり、声のピッチや間などで表すこと、本によって違う書き表し方、図、絵などの処理の工夫という問題も含んでいます。

言葉一つに立ち止まることもしばしばです。どう文面に表すと音訳した方に伝わるのかなど、校正は、互いの疑問を共に考え共通理解を図りながら、図書を手にする読者の姿を思い、さらに研修を深めていきたいと考えます。



名称 みちの会

会員数 8名

製作開始 昭和59年

名称の由来 ゆく道、道德の道、途中の途、未知、路、等々さまざまな“みち”に思いを込めて、ひらがなの「みちの会」と命名。

音声デジ編集 ひまわり2000

ひまわりのように

代表 三浦美希

2000年8月に初めてデジ編集のグループが産声を上げました。その頃はまだ録音テープの時代で、テープをパソコンに取り込んでからデジ編集に編集していました。何もないところから手さぐりで始まったスタート時のみなさんの苦労はいかほどであったかと、思いを新たにいたします。

その後、製作システムも定まり、録音も直接パソコンへと移行しました。また、第5期養成の方々を迎えたメンバーとなりました。図書の形態が多様多様になった現在、この図書の場合はどのような編集したら使いやすいか、聞きやすいか、をその都度よく考えながら編集を行なっています。



名称 ひまわり2000

会員数 11名

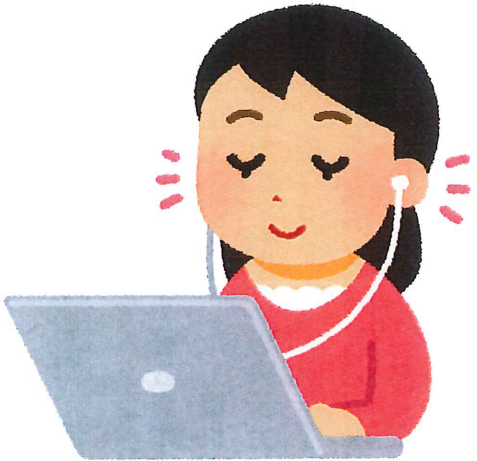
製作開始 平成12年8月

名称の由来 デイジーのCDの回る様子はひまわりのよう。グループの誕生は2000年です。

登録奉仕者数

令和3年7月1日現在

種別		グループ名	活動者	休会者	計	
点 訳	1	点灯虫	9			
	2	ほたる火の会	7			
	3	六点会	7			
	4	たんぽぽの会	5			
	5	いちごの会	18	1		
	6	つくしの会	12	1	活動者	99 名
	7	わかち会	14		休会者	2 名
	8	すばる	13		合 計	101 名
	9	ひよこ	13			
	10	個人	1			
音 訳	1	わかば	9	1		
	2	クローバー	9			
	3	月うさぎ	13			
	4	さくら草	11		活動者	63 名
	5	サークル2000	11		休会者	1 名
	6	フリージア	10		合 計	64 名
	7	個人	0			
音訳校正	1	みちの会	8		活動者	8 名
音声デジター編集	1	ひまわり2000	11		活動者	11 名
テキスト化 テキストデジター編集	1	ドットテキスト	13		活動者	13 名
製 本	1	麻の会	7		活動者	14 名
	2	個人	8			
合 計			209	3		



PLEXTALK リンクポケット



PLEXTALK PTR3

令和2年と3年は新型コロナウイルス感染症の感染予防でいろんなことを諦めなければならませんでした。そうした中でも自分で抱く生きがいややりがいを通じ点訳・音訳の図書や資料の製作、製本に励んでくださっていたことに心から感謝しております。

紙面のグループ写真ではご紹介できていない方がたくさんいらっしゃいます。コロナ禍でどのグループも全員がそろって写真を撮ることが叶いませんでした。それでも仲間がお互いを支え合って活動をされている素晴らしい方々の姿勢は、輝いて見えます。

これからもよろしくお願いいたします。

編集後記

☆☆ 資料 ☆☆

■登録奉仕者数(各年度4月1日付け)

	点 訳	音 訳	音訳校正	デージー編集	テキスト化	製本・墨字印刷・テレフ オンニュースサービス	合 計
H28	110	71	13	11	10	12	227
H29	108	71	12	11	9	11	222
H30	108	70	10	9	9	10	216
R 1	102	63	9	13	11	10	208
R 2	102	61	8	11	13	15	210
R 3	101	64	8	11	13	14	211

■自館製作タイトル実績(冊、巻、枚)

	点 字 図 書	録 音 図 書 (カセットテープ)	音 訳 (デージー)	テキストデージー
H28	135	0	80	28
H29	155	0	83	35
H30	137	0	86	26
R 1	144	0	102	48
R 2	193	0	105	37

■プライベートサービス

	点 字 図 書			録 音 図 書 (カセットテープ)			録音図書(デージー)			テキストデ イジー
	件数	冊数	頁数	件数	巻数	時間数	件数	枚数	時間数	件数
H28	68	109		1	4		20		117	0
H29	77	179					23	23	131	26
H30	56	104	5,660				17	17	103	31
R 1	23	26	1,389				13	16	67	11
R 2	16	33	2,587				18	18	74	5

■自館製作定期刊行物 年間利用数

	点字図書館だより		秋田さきけ新聞 (抜粋)		読売・朝日新聞 (抜粋)	
	テープ	デージー	テープ	デージー	テープ	デージー
H28	1,005	492	809		528	
H29	904	521	783		466	
H30	797	577	677		386	
R 1	710	656	639		355	
R 2	586	732	215	622	140	300

■テレフォンニュースサービス
年間利用数

	件数
H28	91
H29	52
H30	71
R 1	53
R 2	47